

会 議 録		令和 4 年12月13日作成	令和 8 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府向日町警察署協議会（令和 4 年度第 3 回）		
開催日	令和 4 年12月12日（月曜日）		
時 間	午後 3 時30分から午後 5 時30分までの間（ 120分）		
場 所	京都府向日町警察署 講堂		
出席者	多田会長、山下副会長、丸山副会長、梶委員、吉田委員、伊関委員 田中委員、榎本委員、六人部委員、中村委員 （欠席 高城委員、齊藤委員、岡委員） 計10人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、交通課長 警備課長、捜査管理係長、広聴係長 計10人		
諮 問 事 項	令和 4 年中における当署の取組状況について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 協議 司会 会長		
	諮問事項説明 令和 4 年中における当署の取組状況について～各課課長等 【委員】 東京では、自転車の取締りで違反者に赤切符を切ったとの話を聞いた。京都府警でも自転車の違反者に対して赤切符は切るのか。 【警察】 当府警においても自転車の違反者に対して赤切符を交付すること はある。赤切符の交付を受けた違反者は、3年以内に2回違反をすれば更に違反者講習を受講するなどペナルティが科せられる。自転車の指導、取締りについては引き続き行っていく。 【委員】 今般、電動アシスト付きの自転車が増えており、時には猛スピードで走行する者や、危険な運転をしている者が多くなったと感じる。向日町警察署では自転車に対する取締りについてどのような対応をしているのか。 【警察】 京都府下全体を見ても自転車に関する交通事故は増加傾向にあり、指導、取締りを強化している。当署でも積極的な指導、取締りを推		

進している。

【委員】警察官が、自転車の運転マナー向上についての指導を幼稚園、小学校等で行っていることは知っているが、一般市民に対する指導、教養の強化をお願いします。

【委員】自転車の運転マナーの啓発については、自治会の回覧板を活用して各家庭に回覧してはどうか。

【警察】啓発用パンフレット、交番が発行しているミニ広報紙等の広報媒体を自治会に交付したり、各種会合等で啓発活動を推進している。今後も手段や方法、配布先を考えながら取り組んでいく。

【委員】関東に住む母親が特殊詐欺の被害に遭いそうになった。京都では防犯機能付き電話機を貸し出しているとのことだが、全国的な施策なのか。

【警察】防犯機能付き電話機の貸し出しは、警察庁が推奨し、全国で展開しており、全国防犯連絡協議会でも推奨している。補助事業としても各行政によって様々な取組を行っている。

【委員】高齢者の横断中の交通事故はどれくらい発生しているのか。また、高齢者は何故交通事故に遭いやすいのか。

【警察】昨年、交通事故で亡くなった方の約半分が65歳以上の高齢者で、人数で言えば23人となる。その内、14人の方が横断中の交通事故で亡くなっている。交通事故の態様等を分析すると加齢と共に視界が狭くなってきていることや、筋力の衰えから動作が鈍くなり、また、動体視力が衰え、車両の目測スピードを誤って判断していると考えられる。

【委員】先日、私の留守中に「京都府警の者だ」と言って家を訪ねてきた者がいる。また、別の日には、保健センターの職員を名乗り家を訪ねてきて対応した母親が用件を尋ねたところ、「本人でないと言えない。」と言って帰ったそうだ。詐欺の手口を聞いたが、やはりこれも詐欺なのか。

【警察】一概に「これは詐欺である。」とは言えない。手口もいろいろあり、警察官や保健所職員等を名乗る詐欺もある。確実な身分確認を行った上で、不審に思えば警察に通報してほしい。

【委員】私が住んでいる地域で、何年か前に露出魔が出没したとの情報を聞いたが、今年、また露出魔が出たという話を聞いた。犯人は捕まったのか。

【警察】今年、いわゆる露出魔という、公然わいせつ犯人を検挙した事例はある。ただ、委員が言われた犯人と検挙した犯人が同一なのかどうかまでは分からない。

会 議
内 容

会 議
内 容

【委員】 大山崎町内の五条本という地域で交通事故が増えているとの説明があったが、交通渋滞も増えているように思う。交通渋滞と交通事故には関連があるのか。

【警察】 今年、五条本の交通事故は3件取り扱ったが、1件は交通渋滞中の交通事故であった。

【委員】 男性職員は育児休暇を取得しているのか。

【警察】 今年、10名の男性職員が育児休暇を取得している。

【委員】 コロナ禍の影響で社会情勢に変化が生じているが、オンライン会議の普及等警察業務にあっても変化はあるのか。

【警察】 警察本部主催の会議ではオンライン会議が行われるようになったが、警察署内の会議では、普及とまではいかない状況である。

【委員】 特殊詐欺の犯人は、どこから対象となる電話番号を入手しているのか。

【警察】 特殊詐欺は組織的に敢行される犯罪であり、犯罪組織の上部は何らかのつながりがあることが多く、一度入手した個人情報を売買、拡散しているケースが散見される。全国の警察が連携、協力し、事件検挙で押収した携帯電話のメモリー等を分析して、注意喚起、啓発活動を行い、再発防止に努めている。

【委員】 特殊詐欺で逮捕される人に特徴はあるのか。

【警察】 当署で検挙した被疑者は、男性もいれば女性もいる。年齢も様々であった。

【委員】 京都府警察署協議会会長会議の席上で北警察署の「帰宅プロジェクト」についての発表があった。他方、12月10日付けの京都新聞で長岡京市と大山崎町が「認知症で徘徊初動素早く」との見出しで合同訓練の様子が取り扱われていた。向日町警察署でも北警察署の様な取組を行っているのか。

【警察】 当署では北警察署の様な特別なプロジェクトとしての取組は行っていない。ただ、認知症の高齢者が外出して行方不明となった場合、一度保護した方については、氏名、住所等の個人情報をデータ化し、警察において情報共有している。そのため、一度保護の経験がある方については、いち早く家人等に引き渡すことが可能である。

【委員】 長岡京市では、事前に登録した方の靴に電波を発するチップを埋め込み、同じく事前に登録した方にブルートゥース端末で電波を受信できる仕組みを構築しており、24時間何時でも徘徊者が通過すれば位置情報を受け取ることができる。

【委員】 先日開催された京都府警察署協議会会長会議席上でネットセキュリティ対策の話があり、実際にタブレットを使用した模擬体験を受講

会議 内容	<p>した。非常に勉強になった。向日町警察署でも委員の皆様に体験してもらいたい。</p> <p>【警察】警察本部サイバー犯罪対策課が依頼に基づき職員を派遣し、講義を行っている。向日町警察署協議会で講義依頼の調整を行っていく。</p> <p>4 事務連絡</p> <p>令和4年度第4回向日町警察署協議会は、令和5年2月中旬に実施予定である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------	---

第3回京都府向日町警察署協議会の開催状況

